

## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月5日

上場会社名 アクシアル リテイリング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8255 URL <https://www.axial-r.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 原 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長・CFO (氏名) 山岸 豊後 TEL 0258-66-6711  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	71,244	7.1	2,749	3.6	2,835	2.5	1,919	2.5
2025年3月期第1四半期	66,522	4.3	2,655	△6.0	2,767	△4.2	1,873	△3.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,976百万円( 3.2%) 2025年3月期第1四半期 1,915百万円( △3.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第1四半期	21	62	—	—
2025年3月期第1四半期	20	69	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第1四半期	134,621		88,602		65.8	
2025年3月期	135,296		89,294		66.0	

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 88,602百万円 2025年3月期 89,294百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2025年3月期	—	11.00	—	16.00	27.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		13.00	—	16.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	141,000	2.3	5,100	△12.3	5,200	△12.4	3,500	△12.5	39.51	
通期	286,000	1.5	11,400	△5.5	12,000	△5.6	8,200	△9.0	92.51	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	93,552,156株	2025年3月期	93,552,156株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,964,600株	2025年3月期	3,804,784株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	88,776,402株	2025年3月期1Q	90,532,410株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、この四半期決算短信【添付資料】7ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	6
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2	四半期連結財務諸表及び主な注記	9
	(1) 四半期連結貸借対照表	9
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
	四半期連結損益計算書	11
	第1四半期連結累計期間	11
	四半期連結包括利益計算書	12
	第1四半期連結累計期間	12
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
	(四半期財務諸表等の財務報告の枠組み)	14
	(継続企業の前提に関する事項)	14
	(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	14
	(会計方針の変更)	14
	(会計上の見積りの変更)	14
	(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	14
	(株主資本の金額の著しい変動)	15
	(追加情報)	15
	(セグメント情報等)	15
3	補足情報	17
	(1) 生産、受注及び販売の状況	17

文中における将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が判断したものであります。当該将来に関する事項は、取締役会等の社内の会議体で合理的な根拠に基づく適切な検討を経たものであり、検討にあたっては、当社グループの事業所ごとに事業を取り巻く環境、事業計画、その他関連する諸条件を総合的に勘案して判断しております。

将来に関する事項につきましては、不確実性を有しており、将来生じる結果と異なる可能性がありますので、記載しております事項に対する判断は、以下記載事項及び本項目以外の記載内容も合わせて慎重に行われる必要があります。

当社グループは、スーパーマーケットの経営を事業主体としており、店舗「原信」「ナルス」「フレッセイ」を各地に出店しております。

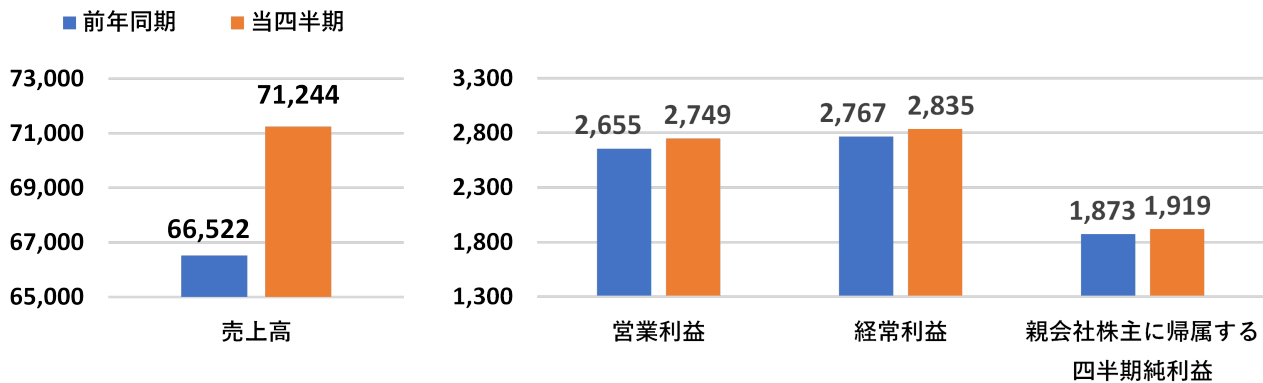
## 1 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、持続的な賃上げや活発な投資がけん引する成長型経済への転換を図るための経済政策が進みつつありますが、物価上昇に対し実質賃金が追いついておらず、財政規律を保ちながら必要な改善策を講じることが課題となっております。また、経済の先行きについて、米国が進める関税措置や中東・ウクライナ情勢など、我が国を取り巻く諸外国の動向が及ぼす影響による不透明感が増しております。

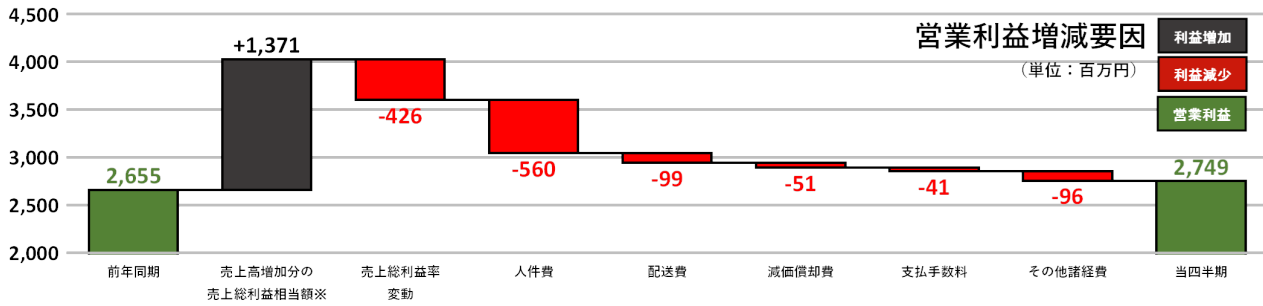
このような状況において、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結経営成績は、売上高が712億44百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益が27億49百万円（前年同期比3.6%増）、経常利益が28億35百万円（前年同期比2.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が19億19百万円（前年同期比2.5%増）となり、売上高は、第1四半期連結累計期間として過去最高の実績を確保することができました。また、1株当たり四半期純利益は21円62銭となりました。

損益増減（単位：百万円）



当連結会計年度においては、当社グループの各出店地域で、競合他社の新規出店・改装が過去にないほど多く予定されております。こうした状況に対し、営業政策として、低価格競争には正面から徹底的に向き合い、お客様にお薦めしたい価値ある商品を他社に負けない価格でご提供するとともに、当社グループの意思が売場で伝わるよう、各店舗が販売方法の改善・工夫を進めております。併せて、単なる価格競争に終始するだけでなく、当社グループの特徴である「豊かさ、楽しさ、便利さ」をご提供するための商品、サービスの強化に一層努めており、当社グループの良さをアピールし、他社店舗を越えてでも当社グループ店舗にご来店いただけるよう注力しております。

このような営業政策により、売上総利益率は前年同期に比べ低下いたしましたでしたが、売上総利益は前年同期を上回る実績を確保することができました。また、強力な営業政策を実現するための原資として、諸経費の統制・削減、デジタル化の推進、労働時間管理等、コスト・コントロールを徹底したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期を上回る実績を確保することができました。



※ 売上高増加分の売上総利益相当額 = 売上高増加分 × 前年同期の売上総利益率

販売費及び一般管理費につきましては、以下の主な要因により前年同期に比べ増加しております。

人件費の増加は、前向きな賃上げ実施によるものであります。配送費の増加は、燃料価格の上昇によるものであります。減価償却費の増加は、前連結会計年度に行った設備投資等によるものであります。支払手数料の増加は、キャッシュレス決済の増加によるものであります。

当第1四半期連結累計期間における各セグメント別の連結経営成績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメント別の経営成績につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

① スーパーマーケット

(全般)

当第1四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の経営成績は、売上高が711億35百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益が27億27百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度に取り組んだ方針を踏襲し、一層深耕することを目指して、下記のとおり年度方針を掲げております。

年度方針

「もっと おいしさがドまん中大作戦！！」～ ”いかす” アクシアルへ～

重点施策

《インフラを活かす》当社のグループ規模、機能を最大限に活用したマスメリットの創出による売上高、売上総利益の最大化と費用の削減

《人材を活かす》働きがいのある職場環境づくり、様々な能力を持った人材の獲得・育成・活用、コミュニケーションの活性化による組織全体のパフォーマンス向上

《イカス！！アクシアル》他社との差別化を図り、お客様よりご評価いただける営業施策の推進

これら取組みにより、環境が大きく変化する状況にあっても、規模・機能・人材を活かして変化に対応し、お客様に感動していただけるような我が社なりの特徴、こだわりを持った商品を一層お届けすることで、毎日の生活の「豊かさ・楽しさ・便利さ」を実現できるように取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における業績の内容、取組みに関する事項は、以下のとおりであります。

(販売指標に関する動向)

当第1四半期連結累計期間の販売指標等は以下のとおりであります。

項目		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	前年同期比
期末店舗数	グループ合計	130店舗	増減なし
	内訳 (原信)	67店舗	1店舗減少
	(ナルス)	13店舗	1店舗増加
	(フレッセイ)	50店舗	増減なし
店舗売上高	全店	70,254百万円	108.0%
	既存店	68,780百万円	107.4%
来店客数	全店	2,784万人	101.0%
	既存店	2,726万人	100.7%
客単価	全店	2,523円	106.9%
	既存店	2,523円	106.6%
買上点数	全店	11.78点	102.4%
	既存店	11.77点	102.2%
一品単価	全店	214.24円	104.6%
	既存店	214.24円	104.5%

- (注) 1 記載数値は、「収益認識に関する会計基準」等に基づく調整前の数値で記載しております。  
 2 店舗数は、当第1四半期連結会計期間末現在におけるスーパーマーケットの設置店舗数であり、他業態の設置店舗数(100円ショップ2店舗)は含みません。また、改装のため休業中の2店舗を含んでおります。  
 3 店舗売上高、来店客数、客単価、買上点数、一品単価は、スーパーマーケット店舗のみの数値であります。  
 4 客単価は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった金額の平均であります。  
 5 買上点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった商品数の平均であります。  
 6 一品単価は、お客様がお買い上げになった商品の一品当たり金額の平均であります。  
 7 既存店は、店舗開設より満13ヶ月以上を経過した店舗であります。

(出店・退店等)

出店、改装、退店につきましては、該当ありません。

なお、当第1四半期連結会計期間末においては、改装工事のため、原信美沢店(5月、新潟県長岡市、売場面積2,081㎡)、並びに、フレッセイ富塚店(6月、群馬県伊勢崎市、売場面積1,973㎡)を一時休業しております。

(直接輸入の開始)

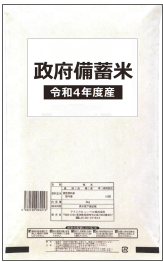
輸入商品は、従来、仲介業者様の力を借りて調達しておりましたが、このたび初めて、仲介業者様を通さず海外の輸出事業者様と当社グループが直接取引を行う直接輸入を実現いたしました。

当社グループの規模をもって、この取組みは容易ではありませんでしたが、他社との差別化や利益率の向上を図るため、数年前から、商品の開拓や組織体制の整備、ノウハウの蓄積を進めた結果、この度の実現に至りました。この実現により、チェーンストアとしてのマスメリットを活かす機能をまた一つ整えることができ、お客様に従来とは異なる一層喜んでいただける商品をお届けしたいと考えております。





(政府備蓄米の販売)



2025年5月に政府が開始した” 随意契約による政府備蓄米の売渡し” について、当社グループは、米の流通改善に向けた政府の政策趣旨に賛同し、買受者の資格条件である年間10,000トン以上の米穀の取扱実績又は取扱見込みを満たす大手小売事業者として申込みを行い、1,110トンを買受けました。

この後、速やかに店頭で販売するため、精米事業者や包装資材の確保に困難を極めました。6月初旬より段階的に、お客様へ政府備蓄米をお届けいたしました。

(アプリ更新)



当社グループでは、お客様にお買い物の楽しさ、便利さをご提供するための販売促進ツールとして、スマートフォン向けアプリケーションである「原信ナルスアプリ」と「フレッセイアプリ」をご提供しております。

このうち、原信ナルスアプリについて、4月に全面リニューアルを実施いたしました。

今回の更新は、見やすさ・分かりやすさを高めるための表示変更、割引クーポン体系の改変、利用可能なバーコード決済サービスの追加等、新機能の追加、機能改善を図るとともに、セキュリティと不正防止の機能強化を図っています。

② その他

(全般)

当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の経営成績は、売上高が13億53百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益が70百万円（前年同期比35.7%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における業績の内容、取組みに関する事項は、以下のとおりであります。

(情報処理事業)

主力であるスーパーマーケット事業向けの販売は、情報機器の販売が伸長し前年同期より増加いたしました。また、外部顧客向けの販売は、スーパーマーケット事業の基幹システム改修に開発人員を振り向け外部顧客向けの情報システム開発を縮小したため前年同期より減少いたしました。この結果、売上高は、前年同期に比べ9.7%増加いたしました。

なお、当事業を担うアイテックは、設備更新、機能拡充のため、2025年5月に本社を移転（新潟県長岡市中興野16番地1）いたしました。この本社移転に関係し一時的な費用が生じたため、営業利益は、前年同期に比べ35.7%減少いたしました。



(印刷事業)

主力であるスーパーマーケット事業向けの販売は、印刷物や媒体の受注が増えたため増加いたしました。一方、外部顧客向けの販売は、印刷物やイベント企画の受注が減り減少いたしました。この結果、売上高は、前年同期に比べ14.2%増加し、営業利益は、前年同期に比べ530.6%増加いたしました。

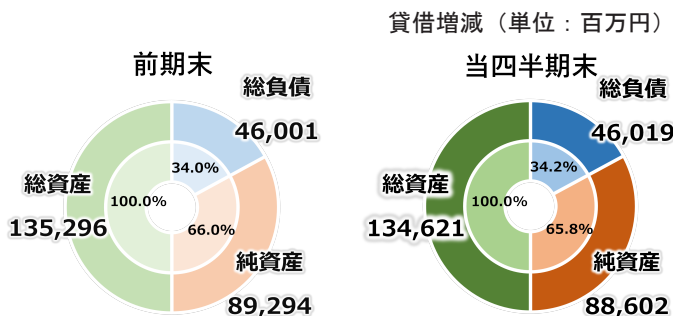
(清掃事業)

主力であるスーパーマーケット事業向けの販売は、安定した受注を受け前年同期に比べ増加いたしました。また、外部顧客向けの販売は、リサイクル資材の販売単価が下落し前年同期に比べ減少いたしました。この結果、売上高は、前年同期に比べ2.0%増加いたしました。営業利益は、前年同期に比べ4.4%減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態は、総資産が1,346億21百万円（前連結会計年度末比6億74百万円減）、総負債が460億19百万円（前連結会計年度末比17百万円増）、純資産が886億2百万円（前連結会計年度末比6億92百万円減）となりました。また、1株当たり純資産額は1,000円17銭となり、当第1四半期連結会計期間末におけるPBR（株価純資産倍率）は1.12倍となりました。



当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態全般の各項目の内容を示すと、次のとおりであります。

(総資産)

流動資産は392億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億50百万円減少いたしました。これは主に、売掛金が、決算月の営業日数の関係により前連結会計年度末に比べ4億87百万円減少したこと、並びに、流動資産「その他」（主に営業債権）が、回収により前連結会計年度末に比べ4億29百万円減少したことによるものであります。なお、流動資産の構成比は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少し29.2%となりました。

固定資産は953億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億23百万円減少いたしました。その内容は次のとおりであり、固定資産の構成比は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増加し70.8%となりました。

有形固定資産は763億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億90百万円減少いたしました。これは主に、減価償却によるものであります。

無形固定資産は32億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは主に、減価償却によるものであります。

投資その他の資産は158億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が、時価評価額の上昇により前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加したこと、並びに、繰延税金資産が、税効果会計上の一時差異の発生により前連結会計年度末に比べ1億16百万円増加したことによるものであります。

(総負債)

流動負債は319億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が、商品仕入高の増加により前連結会計年度末に比べ3億68百万円増加したこと、並びに、賞与引当金が、支給対象期間に基づく引当額の増加により前連結会計年度末に比べ6億15百万円増加したことによるものであります。なお、流動負債の構成比は、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント増加し23.7%となりました。

固定負債は140億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億70百万円減少いたしました。これは主に、リース債務が、返済により前連結会計年度末に比べ48百万円減少したこと、並びに、長期預り保証金が、償還により前連結会計年度末に比べ1億27百万円減少したことによるものであります。なお、固定負債の構成比は、前連結会計年度末と同様の10.5%となりました。

(純資産)

株主資本は864億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億49百万円減少いたしました。増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益19億19百万円であり、減少要因は、剰余金の配当14億35百万円及び自己株式の取得12億32百万円であります。



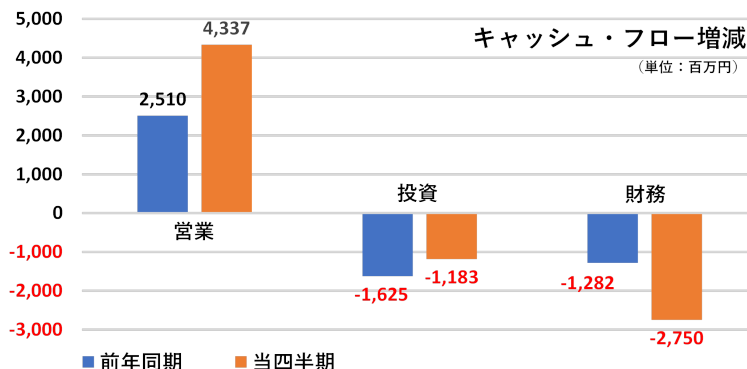
その他の包括利益累計額は21億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が、保有する投資有価証券の時価総額の増加により前連結会計年度末に比べ77百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少し65.8%となりました。

② キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、222億90百万円（前連結会計年度末比4億3百万円増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フロー全般の各項目の内容を示すと、次のとおりであります。



(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は43億37百万円となり、前年同期に比べ18億27百万円増加（前年同期比72.8%増）いたしました。これは主に、営業債権と営業債務の増減額が、前年同期と当第1四半期連結累計期間の曜日周りの違いにより未決済部分の差異が生じたこと、並びに、法人税等の支払額が、中間納税額と確定申告額の関係により前年同期に比べ5億88百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11億83百万円となり、前年同期に比べ4億41百万円減少（前年同期比27.2%減）いたしました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が、設備投資時期の関係で前年同期に比べ4億11百万円減少（前年同期比25.8%減）したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は27億50百万円となり、前年同期に比べ14億68百万円増加（前年同期比114.5%増）いたしました。これは主に、配当金の支払額が、増配により前年同期に比べ1億88百万円増加したこと、並びに、自己株式の取得による支出が、取締役会決議に基づく自己株式の取得（約定日基準による取得期間：2025年2月5日から2025年8月31日、取得しうる株式の総数上限200万株、株式の取得価額の総額上限20億円）を実施したことにより、前年同期に比べ12億82百万円増加したことによるものであります。なお、本自己株式の取得につきましては、2025年4月28日約定の買付けをもって、取得価額の上限に達したため終了しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 連結業績予想

(第2四半期連結累計期間)

項目	予想値 (2025年9月中間期) (百万円)	前第2四半期連結累計期間比 (2024年9月中間期比) (%)
売上高	141,000	102.3
営業利益	5,100	87.7
経常利益	5,200	87.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,500	87.5

(通期)

項目	予想値 (2026年3月期) (百万円)	前連結会計年度比 (2025年3月期比) (%)
売上高	286,000	101.5
営業利益	11,400	94.5
経常利益	12,000	94.4
親会社株主に帰属する当期純利益	8,200	91.0

② 上記予想の前提条件

(全般)

売上高につきましては、近年の新規出店、並びに、昨今の堅調な販売動向を踏まえた既存店の売上増加により、第2四半期連結累計期間、通期のいずれも前連結会計年度と比較して増加を見込んでおります。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、主力店舗のうち2店舗が建替え並びに大規模改装のため長期休業をすること、競合の新規出店による競争激化への対応強化を図ること、前向きな賃上げの実施及び社会保険料負担の増加による人件費増加等が営業利益を圧迫することを見込んでいるため、前連結会計年度と比較し減少を見込んでおります。

(売上高予想の前提となる店舗売上高の見通し)

業績予想の基本となる店舗売上高については、次のとおり見込んでおります。

項目	前連結会計年度比 (2025年3月期比)	
	全店 (%)	既存店 (%)
第2四半期累計期間	102.7	102.9
通期	102.2	101.5

③ 第2四半期連結累計期間の業績予想に対する第1四半期連結累計期間の実績の進捗状況

当第1四半期連結累計期間の実績は、概ね当初の連結業績予想に沿ったものであり、現時点で業績予想の修正はありません。

項目	第2四半期予想値 (A)	第1四半期実績値 (B)	進捗率 (%) (B) / (A)
売上高 (百万円)	141,000	71,244	50.5
営業利益 (百万円)	5,100	2,749	53.9
経常利益 (百万円)	5,200	2,835	54.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	3,500	1,919	54.8

④ 注意事項

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は既知及び未知のリスク、不確実性及びその他様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、当社グループが認識している事業等のリスクにつきましては、当社の有価証券報告書をご参照ください。

2 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,887	22,290
受取手形及び売掛金	7,224	6,736
リース投資資産	358	337
商品及び製品	5,714	5,871
仕掛品	12	25
原材料及び貯蔵品	358	372
未収還付法人税等	0	0
その他	4,053	3,624
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	39,605	39,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,971	48,315
機械装置及び運搬具（純額）	1,152	1,220
土地	20,863	20,998
リース資産（純額）	1,369	1,350
建設仮勘定	1,028	1,266
その他（純額）	3,346	3,190
有形固定資産合計	76,732	76,341
無形固定資産		
のれん	1	1
その他	3,239	3,221
無形固定資産合計	3,241	3,222
投資その他の資産		
投資有価証券	3,778	3,891
長期貸付金	3	3
退職給付に係る資産	599	599
繰延税金資産	3,897	4,013
敷金及び保証金	6,567	6,442
その他	885	867
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	15,716	15,802
固定資産合計	95,690	95,366
資産合計	135,296	134,621

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,630	18,998
契約負債	680	674
リース債務	268	275
未払法人税等	1,781	1,174
役員賞与引当金	317	81
賞与引当金	2,301	2,917
その他	7,785	7,830
流動負債合計	31,765	31,953
固定負債		
リース債務	2,038	1,990
資産除去債務	6,193	6,201
長期預り保証金	5,884	5,757
退職給付に係る負債	1	1
その他	118	115
固定負債合計	14,236	14,065
負債合計	46,001	46,019
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	15,749	15,749
利益剰余金	71,738	72,222
自己株式	△3,494	△4,727
株主資本合計	87,153	86,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,746	1,824
退職給付に係る調整累計額	394	374
その他の包括利益累計額合計	2,141	2,198
純資産合計	89,294	88,602
負債純資産合計	135,296	134,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	66,522	71,244
売上原価	47,202	50,979
売上総利益	19,319	20,264
販売費及び一般管理費		
従業員給料	2,544	2,701
雑給	4,944	5,210
役員賞与引当金繰入額	83	81
賞与引当金繰入額	964	1,021
退職給付費用	175	167
地代家賃	1,388	1,383
減価償却費	1,240	1,292
のれん償却額	0	0
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	5,322	5,655
販売費及び一般管理費合計	16,663	17,514
営業利益	2,655	2,749
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	45	58
受取保険金	59	11
違約金収入	0	55
その他	12	16
営業外収益合計	124	148
営業外費用		
支払利息	11	11
自己株式取得費用	—	49
その他	1	1
営業外費用合計	13	62
経常利益	2,767	2,835
特別損失		
固定資産除却損	7	6
減損損失	5	0
特別損失合計	12	6
税金等調整前四半期純利益	2,754	2,828
法人税、住民税及び事業税	807	1,051
法人税等調整額	73	△142
法人税等合計	881	908
四半期純利益	1,873	1,919
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,873	1,919



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,873	1,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	77
退職給付に係る調整額	△25	△20
その他の包括利益合計	42	56
四半期包括利益	1,915	1,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,915	1,976
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,754	2,828
減価償却費	1,350	1,421
減損損失	5	0
のれん償却額	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△240	△235
賞与引当金の増減額 (△は減少)	170	615
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△33	△29
受取利息及び受取配当金	△52	△65
支払利息	11	11
固定資産除却損	7	6
売上債権の増減額 (△は増加)	185	487
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△213	△183
仕入債務の増減額 (△は減少)	196	368
未払又は未収消費税等の増減額	455	177
リース投資資産の増減額 (△は増加)	2	21
その他	3	397
小計	4,599	5,824
利息及び配当金の受取額	45	58
利息の支払額	△9	△9
法人税等の支払額	△2,124	△1,535
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,510</b>	<b>4,337</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	—
有形固定資産の取得による支出	△1,598	△1,187
無形固定資産の取得による支出	△124	△102
貸付けによる支出	△3	△0
貸付金の回収による収入	1	0
敷金及び保証金の純増減額 (△は増加)	113	131
その他	△13	△25
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,625</b>	<b>△1,183</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△70	△68
自己株式の取得による支出	△0	△1,282
配当金の支払額	△1,211	△1,399
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,282</b>	<b>△2,750</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△396	403
現金及び現金同等物の期首残高	21,019	21,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,622	22,290

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表等の財務報告の枠組み)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する事項)

当第1四半期連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

2 持分法の適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

重要な会計上の見積りの変更はありません。

なお、スーパーマーケット事業における店舗等の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務の一部について、処分方針の決定に伴い解体撤去等に係る見積書等の新たな情報の入手を行い検討した結果、資産除去債務の計算基礎となる除去費用に関する会計上の見積りの変更を行い、資産除去債務の計上金額に関する変更を行っております。この結果、変更前の資産除去債務残高を200万円を減算しており、販売費及び一般管理費(減価償却費)が200万円減少し、税金等調整前四半期純利益が200万円増加しております。翌連結会計年度以降の連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額の著しい変動)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	66,351	66,351	170	66,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	33	1,087	1,120
合計	66,384	66,384	1,258	67,642
セグメント利益	2,576	2,576	109	2,685

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して著しい変動はありません。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント合計	2,576百万円
「その他」区分の利益	109百万円
セグメント間取引消去	10百万円
全社費用	△222百万円
その他の調整額	182百万円
四半期連結損益計算書の営業利益	2,655百万円

(注) 1 セグメント間取引消去は、主にセグメント間の固定資産売買によって生じた未実現利益に係る調整であります。

2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社(持株会社である当社)に係るものであります。

3 その他調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社(持株会社である当社)に対する経営指導料支払額の消去であります。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

5 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものはありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	71,098	71,098	145	71,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	36	1,207	1,244
合計	71,135	71,135	1,353	72,488
セグメント利益	2,727	2,727	70	2,798

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して著しい変動はありません。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント合計	2,727百万円
「その他」区分の利益	70百万円
セグメント間取引消去	8百万円
全社費用	△231百万円
その他の調整額	174百万円
四半期連結損益計算書の営業利益	2,749百万円

(注) 1 セグメント間取引消去は、主にセグメント間の固定資産売買によって生じた未実現利益に係る調整であります。

2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に係るものであります。

3 その他調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に対する経営指導料支払額の消去であります。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

5 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものはありません。



3 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

(単位 百万円、%)

項目			前第1四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		前年同期比	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
スーパー マーケット	生鮮食品	青果	8,784	13.0	9,292	12.8	508	105.8
		精肉	7,556	11.2	8,251	11.4	694	109.2
		水産	6,843	10.1	7,109	9.8	266	103.9
		惣菜	7,034	10.4	7,575	10.5	541	107.7
		計	30,218	44.7	32,229	44.5	2,010	106.7
	一般食品	デイリー	14,096	20.9	14,802	20.4	705	105.0
		加工食品	17,050	25.2	18,959	26.2	1,909	111.2
		インスタア ベーカーリー	1,364	2.0	1,442	2.0	78	105.8
		計	32,511	48.1	35,205	48.6	2,694	108.3
	住居		1,998	2.9	2,028	2.8	29	101.5
	衣料品		19	0.0	16	0.0	△3	83.5
	その他		73	0.1	73	0.1	0	100.3
	営業収入		1,529	2.3	1,545	2.1	15	101.0
	セグメント間の 内部売上高又は振替高		33	0.0	36	0.0	3	111.1
小計		66,384	98.1	71,135	98.1	4,750	107.2	
その他	外部顧客に対する売上高		170	0.3	145	0.2	△25	85.3
	セグメント間の 内部売上高又は振替高		1,087	1.6	1,207	1.7	120	111.0
	小計		1,258	1.9	1,353	1.9	95	107.6
合計			67,642	100.0	72,488	100.0	4,845	107.2

② 仕入実績

(単位 百万円、%)

項目			前第1四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		前年同期比	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
スーパー マーケット	生鮮食品	青果	6,512	13.7	6,894	13.4	381	105.9
		精肉	5,901	12.4	6,537	12.8	636	110.8
		水産	4,805	10.1	5,044	9.8	238	105.0
		惣菜	3,952	8.3	4,283	8.4	331	108.4
		計	21,172	44.5	22,759	44.4	1,587	107.5
	一般食品	デイリー	10,308	21.7	10,879	21.2	571	105.5
		加工食品	12,985	27.3	14,442	28.2	1,456	111.2
		インスタ ペーカー	521	1.1	557	1.1	35	106.9
		計	23,815	50.1	25,879	50.5	2,064	108.7
	住居		1,543	3.3	1,526	3.0	△16	98.9
	衣料品		11	0.0	8	0.0	△3	74.2
	その他		27	0.1	30	0.1	3	112.2
	リース原価		24	0.0	20	0.0	△3	84.7
	セグメント間の 内部仕入高又は振替高		53	0.1	55	0.1	1	103.6
	小計		46,647	98.1	50,281	98.1	3,633	107.8
	その他	外部取引先からの仕入高		836	1.7	910	1.8	74
セグメント間の 内部仕入高又は振替高		85	0.2	84	0.1	△0	99.2	
小計		921	1.9	995	1.9	73	108.0	
合計			47,569	100.0	51,277	100.0	3,707	107.8